		1学期				2学期				3学期					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
未然防止	チャリン等の配付	「子どもはいつも求めています」 「子どものサイン発見チェックリスト」		「相談啓発(自殺予防)リーフレット」		いじめ防止啓発月間 「いじめをしない、させない、見逃さない」				加古川教育 フォーラム					
	早期発見	心の相談アンケート 教育相談週間の設置		アセス1回目	懇談会		心の相談アンケート 教育相談週間の設置	アセス2回目	懇談会						
教職員研修等・組織的な推進体制	職員会議等・組織的な推進体制	① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。		③ 生徒指導、いじめ問題、心のケアに関する研修を校区青少年育成連絡協議会とも連動し、年2回実施する。		⑤ 情報モラル研修の実施		⑤ 学校運営協議会とユニット、各ステージが連携・協働した取り組みを推進する。		⑤ 学校運営協議会とユニット、各ステージが連携・協働した取り組みを推進する。		⑤ 学校運営協議会とユニット、各ステージが連携・協働した取り組みを推進する。			
		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催		② いじめ対応チームを校長、教頭、生徒指導担当教員(各ステージ)、学年主任(後期課程)、養教、SC、MC SSW等で組織し、対応会議を月1回開催	
		④ 授業参観・オープンスクール等を利用して、保護者対象に相談窓口の案内等の啓発チラシやリーフレットを配布する。													
未然防止に向けた取組	未然防止に向けた取組	② いじめ防止、子どものSOS発見の啓発チラシやリーフレット等を配付する。		⑤ いじめ防止に関する啓発活動を学園会役員と教師が協働して考え、いじめ未然防止に取り組む。		② いじめ防止、子どものSOS発見の啓発チラシやリーフレット等を配付する。		⑤ いじめ防止に関する啓発活動を学園会役員と教師が協働して考え、いじめ未然防止に取り組む。		① 「いじめ防止啓発月間」(9月)に、記入者自身のいじめ被害、または友人のいじめ被害に関連づけた生活アンケートを実施する。		⑤ いじめ防止に関する啓発活動を学園会役員と教師が協働して考え、いじめ未然防止に取り組む。			
		③ 地域と連携したり特別講師によるインターネットトラブル防止教室などの講演をしてもらう。		④ 教育相談を担当が行い、学年、学校で情報を共有する。必要に応じてSC、SSWと連携しながら多角的な未然防止に取り組む。		④ 教育相談を担当が行い、学年、学校で情報を共有する。必要に応じてSC、SSWと連携しながら多角的な未然防止に取り組む。		④ 教育相談を担当が行い、学年、学校で情報を共有する。必要に応じてSC、SSWと連携しながら多角的な未然防止に取り組む。		④ 教育相談を担当が行い、学年、学校で情報を共有する。必要に応じてSC、SSWと連携しながら多角的な未然防止に取り組む。		⑥ 7月・12月の三者面談時には児童生徒同士の間関係について保護者とともに共通理解を図る。		⑦ 情報モラル教室を実施	
		③ 地域と連携したり特別講師によるインターネットトラブル防止教室などの講演をしてもらう。													
早期発見・早期対応に向けた取組	早期発見・早期対応に向けた取組	② 「心の相談アンケート」を実施し、子どもの実態を把握する。具体的な対応策や支援策の確認		① 「学校生活に関するアンケート」(アセス)を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。		① 「学校生活に関するアンケート」(アセス)を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。		② 「心の相談アンケート」を実施し、子どもの実態を把握する。具体的な対応策や支援策の確認		① 「学校生活に関するアンケート」(アセス)を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。		⑦ 各ステージの生徒指導担当で連携し、各ステージ間の人間関係をつかむ。		⑦ 各ステージの生徒指導担当で連携し、各ステージ間の人間関係をつかむ。	
		③ 教育相談週間を年2回実施する。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。		④ いじめの見逃しゼロをめざし、積極的にいじめ認知を行う。ただし、被害者の意向の尊重を最優先とし、判断は慎重に行う。	
		⑤ いじめの疑いがある場合、スクールカウンセラーとメンタルサポーターの積極的利用を当該児童生徒に促し、早期発見に努める。													
校内での検証体制	PDCAサイクルの具体	プログラム				プログラム				プログラム					
		対策プログラムの実行				調査				対策プログラムの実行					
		調査													
		点検・改善													
		報告													
		プログラム													

校区内巡回指導担当と活動顧問の連携